

**「総合車両センター業務体制の見直しについて」提案を受ける！①**

JR 東労組東京地本は首都圏本部より、総合車両センター業務体制の見直しについて提案を受けました。会社は、「変革2027」の実現に向けて**社員の働きがい**を創出し、社員と当社グループの持続的な成長につなげる必要がある。引き続き、鉄道オペレーションをサステナブルに運営していくとともに、**社員の活躍フィールド等を拡大**していくため、東京総合車両センター及び大宮総合車両センターの業務体制を見直す。

また、**鉄道車両の輪軸組立作業における事象**を受け、**コンプライアンス遵守の徹底**と業務体制の強化を目的に東京総合車両センターの体制を見直す。としています。

【提案内容】**1. 実施内容**

- (1) 東京総合車両センター装置科の鉄鋼業務を、大宮総合車両センター保全科へ移管する。
また、大宮総合車両センター保全科の、鉄工組と SL 組を統合する。
- (2) 東京総合車両センター総務科と企画科を統合しマネジメント科を設置する。併せて技術科と設備科の体制を見直す。

2. 実施箇所

- 第1項(1) 東京総合車両センター、大宮総合車両センター
第1項(2) 東京総合車両センター

3. 体制について

		現行			改正			記事
		変形	交代	計	変形	交代	計	
東京総合車両センター	管理	40	2	42	40	2	42	
	一般	289	8	297	286	8	294	-3
大宮総合車両センター	管理	36	1	37	36	1	37	
	一般	154	4	158	155	4	159	+1

4. 実施日

2025年7月1日

5. その他

施策実施に向けて必要な準備を進めていく。

【提案時の主なやり取り】

組合：本提案(1)は、TK 側は「ものづくりセンター」の体制変更のことか。

会社：そうだ。ものづくりセンターのうち、鉄工業務に関するものを移管する。

組合：ものづくりセンターの現在の体制は？

会社：担当副長1名、組持2名、作業員11名の、計 14 名である。

組合：移管後に、ものづくりセンターの業務は何か残るのか。

会社：ステッカー関係、スカートや FRP 塗装などの業務は残る。

組合：移管する鉄工業務は何を指しているのか。

会社：溶接や切断などである。

組合：鉄工担当の、溶接の有資格者は何名いるのか。

会社：5名いる。

その②へ続く